



### 2-3 市民の緑に対する意識

公園や緑地等、緑化の取り組みに対する市民の認識について、平成20年11~12月にかけて市民アンケート調査を実施しました。

この市民アンケート調査は、市内全域の20歳以上の3,000人に対して調査票を配布(郵送)し、1,164票を回収(回収率38.8%)しました。

#### (1) 緑の効用

・「気温の上昇などを抑制する(気候を和らげる)」という意見が大幅に増加している。

『緑』があることで好ましいと思うことは、前回、今回ともに「空気をきれいにする」「心がやすらぐ」の2つが上位を占めていますが、「気温の上昇などを抑制する(気候を和らげる)」という意見が今回は大幅に増加しており、地球温暖化や都市環境における緑の役割の重要性が市民に重視されていることがわかります。一方で、「生物の活動の場となる」という意見は減少しています。

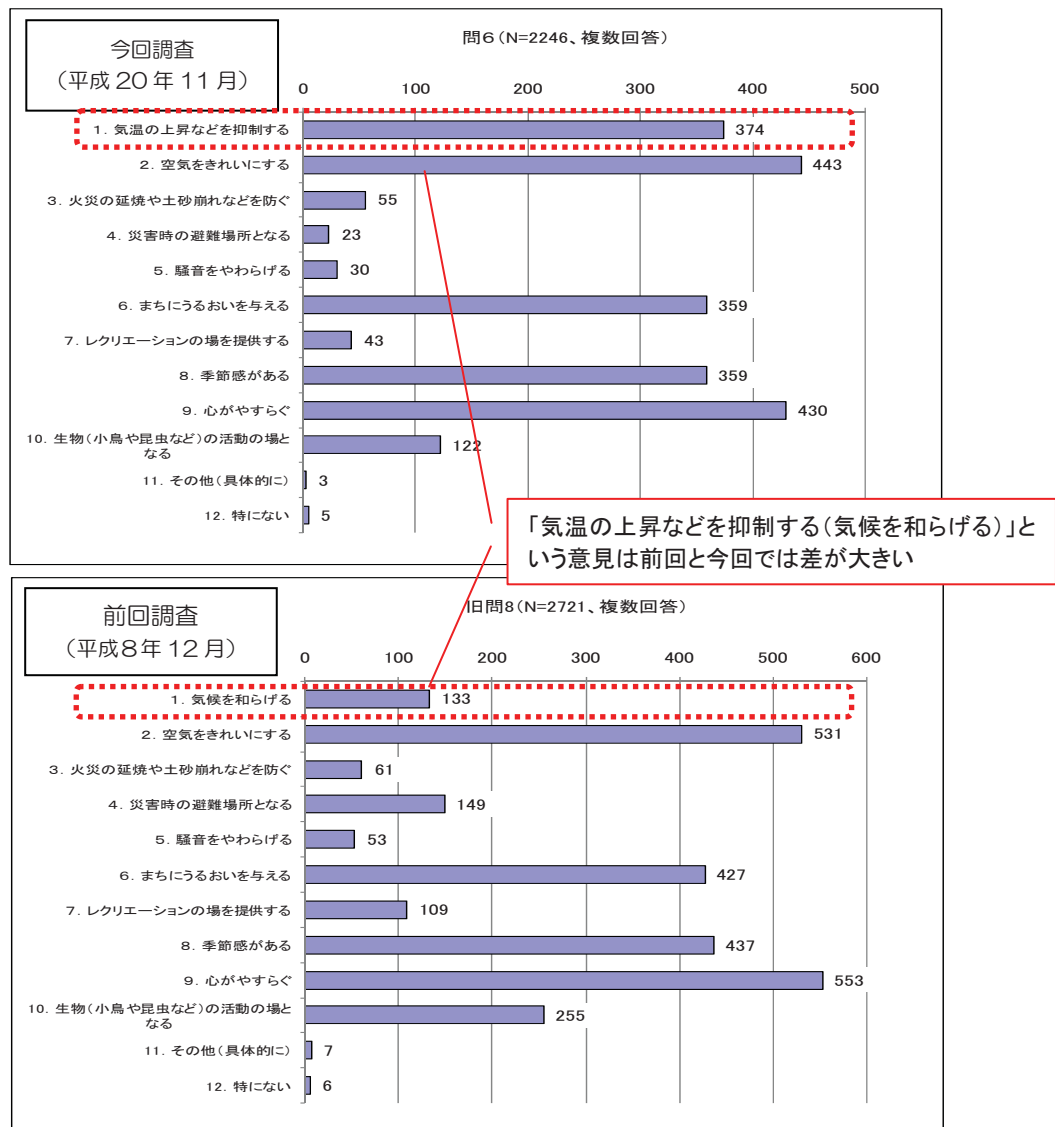


図2-22 緑の効用



## (2) 緑の量に対する認識

### ① 緑に対する全体的な認識

・身近な緑の量は多いが、身近な公園・広場の数は少ない。

緑の量については、日ごろ接したり目に触れたりする緑は比較的多いという意見が多くなっていますが、子供の遊び場や散歩をする場などの身近な公園や緑地は少ないと感じている傾向がうかがえます。

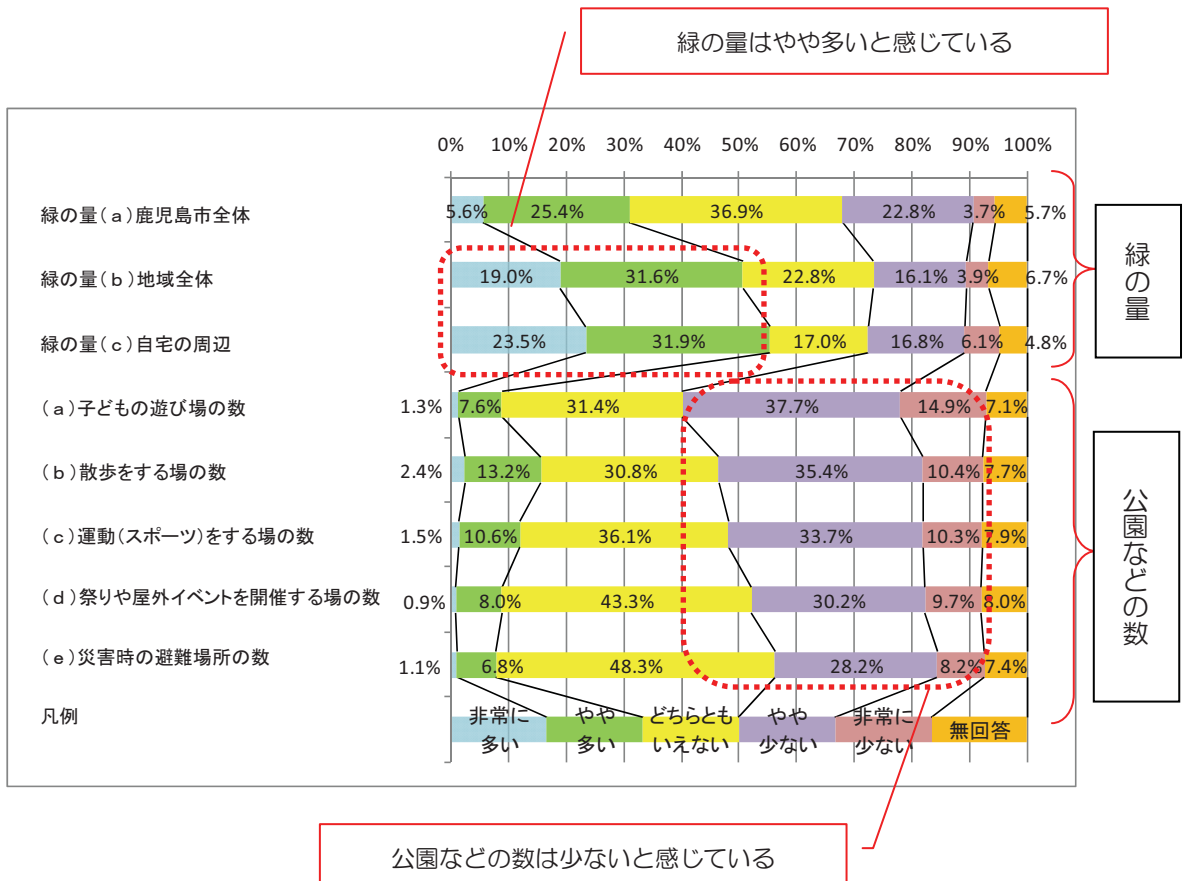


図2-23 市民の緑の量に対する認識



## ②緑の量の増減

・身近な緑は、前回調査に比べて「増えている」と「減っている」は減少し、「変わらない」が増加している。

『自宅の周辺』の緑の量がこの10年間で減っているかどうかについて聞いたところ、今回調査（旧市域）では、「徐々に減っている」、「急激に減っている」を合わせて31.8%が減っていると答えています。前回調査の40%と比べると減っているという意見は減少しており、「あまり変わっていない」が大幅に増加しています。

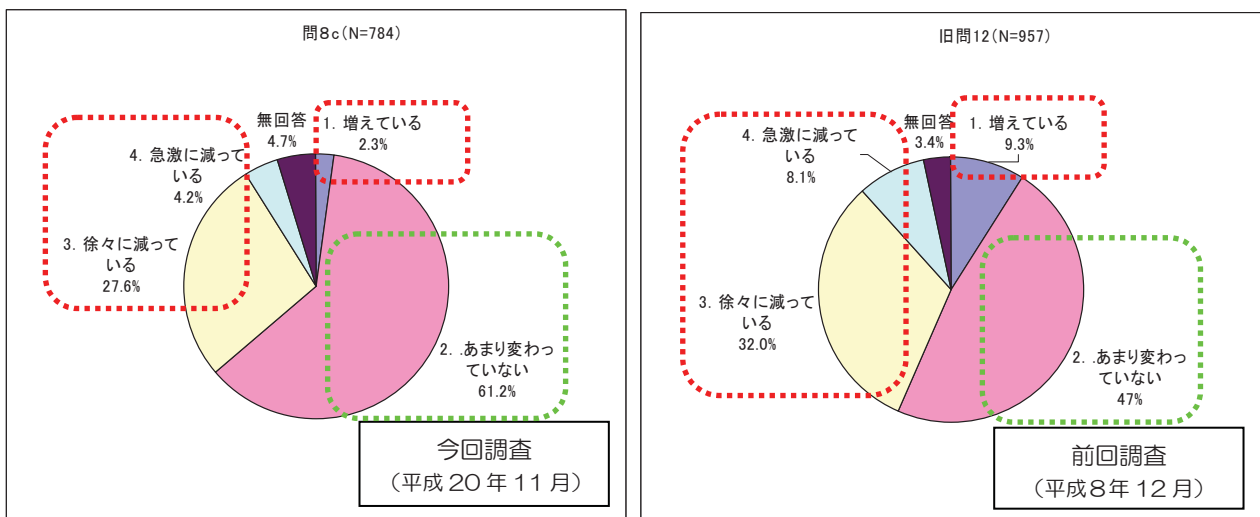


図2-24 緑の量の増減



### ③地域別の緑の量

・周辺部の伊敷、吉野、桜島、吉田、喜入、松元、郡山では地域の緑は多いが、中心市街地の中央、鴨池、上町、城西では緑が少ないと感じている。

『地域全体の緑』の量は、「非常に多い」「やや多い」を合わせて50.6%となっており、「非常に少ない」「やや少ない」の20.0%を大きく上回っています。

地域・地区別にみると、伊敷、吉野、桜島、吉田、喜入、松元、郡山地域では、多いと感じている人が市平均よりも多く、反対に中央地域の中央、鴨池、上町、城西地区では、少ないと感じている人の方が多いと感じている人を上回っています。

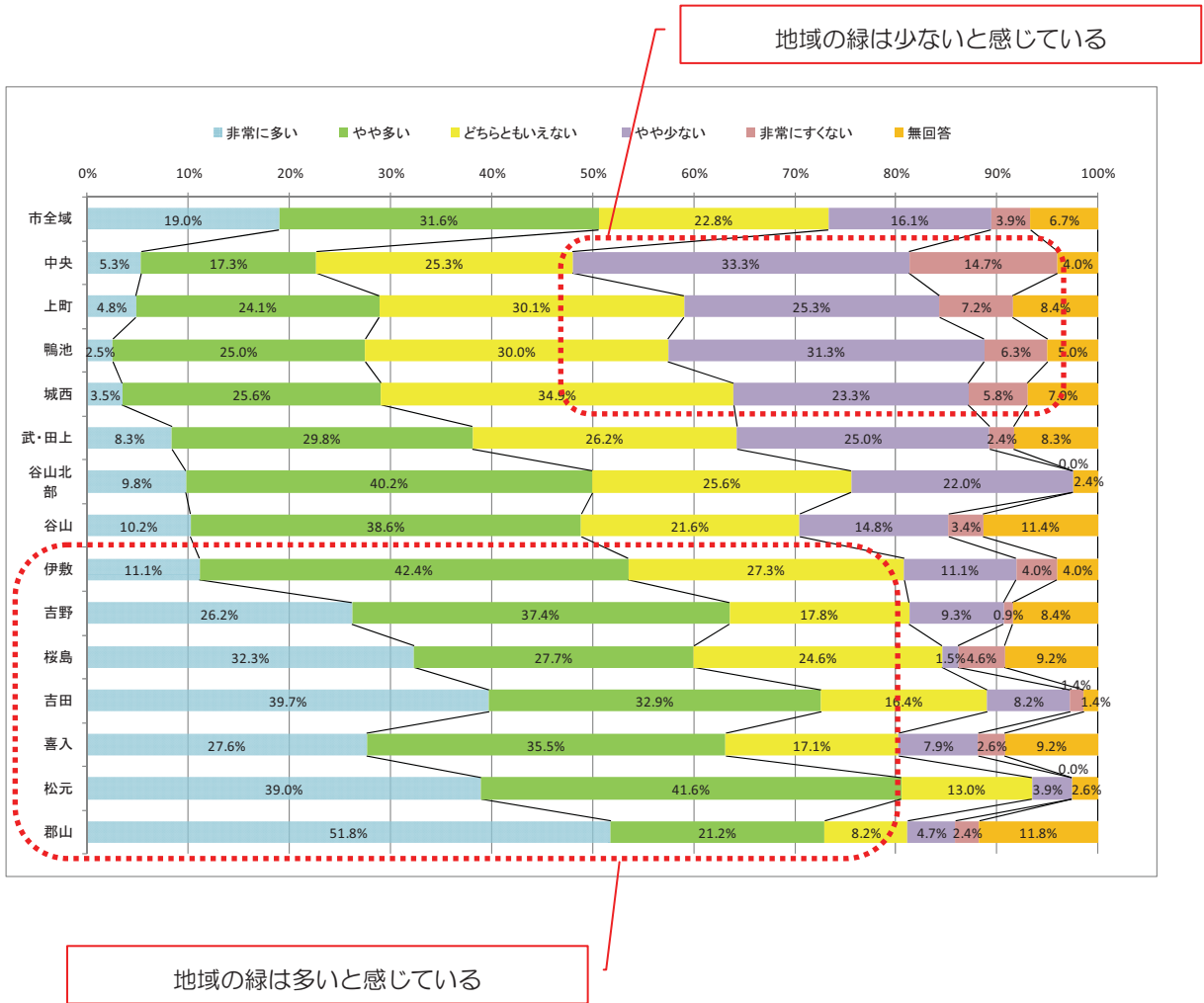


図2-25 地域・地区別緑の量（地域全体）

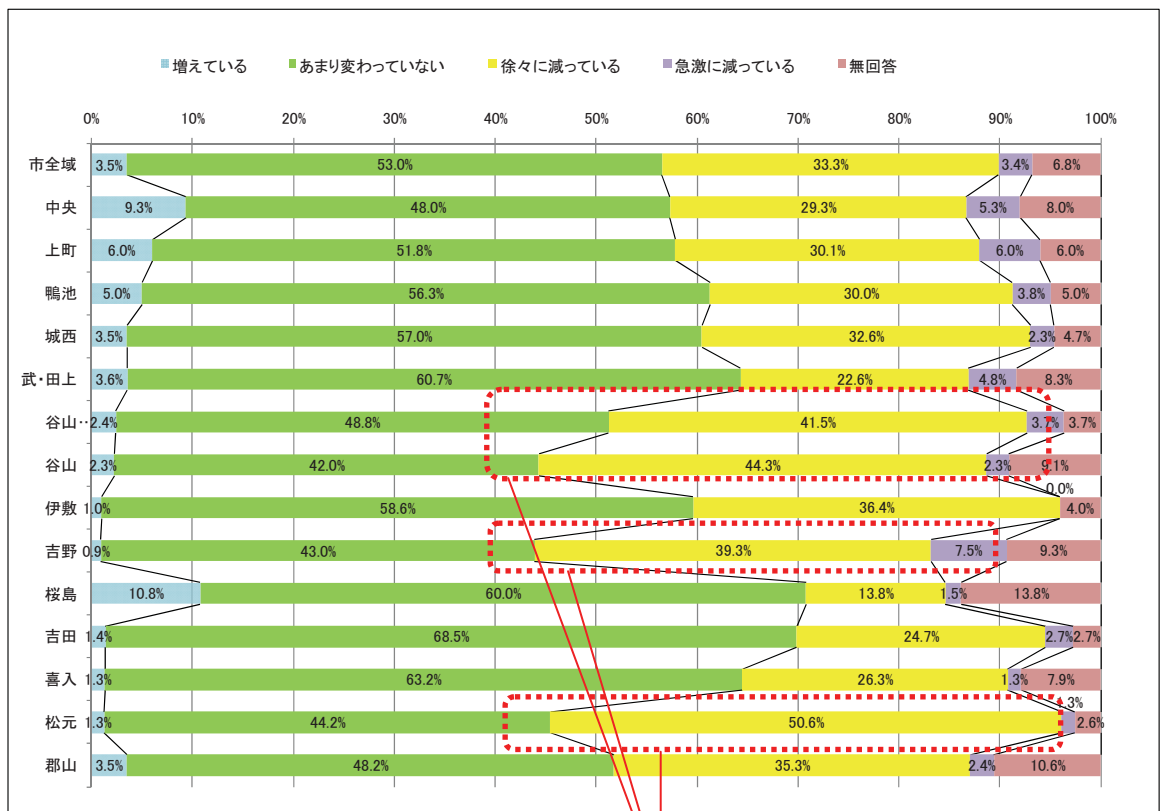


#### ④地域別の緑の量の増減

・地域の緑の量は、谷山、谷山北部、吉野、松元では減少していると感じており、近年の住宅開発等による緑の減少がうかがえる。

『地域全体』の緑の量がこの10年間で減っているかどうかについて聞いたところ、「徐々に減っている」「急激に減っている」を合わせて36.7%となっており、3分の1を超える人が減っていると感じています。また、「増えている」は3.5%にとどまっております、「あまり変わらない」は53.0%と過半を占めています。

地域・地区別にみると、谷山地域（谷山、谷山北部）、吉野地域、松元地域では減っていると回答した人が多く、近年の住宅開発等による緑の減少を地域の方は感じているようです。一方、中央地区、桜島地域では、他の地域・地区に比べて「増えている」と回答した人が比較的多く、近年の公園整備や街路樹・市電軌道敷緑化などが評価されているものと考えられます。



地域の緑が減少していると感じている人が40%以上

図2-26 地域・地区別緑の量の増減（地域全体）



### ⑤公園や運動場の数

- ・「子どもの遊び場」など身近な公園・広場の不足が問題となっている。
- ・周辺部では吉田・喜入・松元、市街地部では中央・鴨池で不足と感じる人が多い。

鹿児島市の公園や運動場などの数についての質問では、「子どもの遊び場の数」「散歩をする場の数」「運動（スポーツ）をする場の数」「祭りや屋外イベントを開催する場の数」「災害時の避難場所の数」の各項目とも、得点はマイナスとなっており、全体的に公園等が少ないと感じている傾向にあります。特に、「子どもの遊び場の数」は得点-0.62と最も少ないと感じている傾向が強く、次いで、「運動（スポーツ）をする場の数」「祭りや屋外イベントを開催する場の数」「散歩をする場の数」の順となっています。

地域・地区別にみると、得点合計は吉田地域が最も低く、旧市内では中央、鴨池地区、谷山、伊敷、吉野地域、周辺部では松元地域の得点が市平均地よりも低くなっています。

「子どもの遊び場の数」に関しては吉田地域（得点-0.90）が最も低く、周辺部の喜入、松元地域と、市街地部の中央、鴨池地区が市の平均値よりも低くなっています。

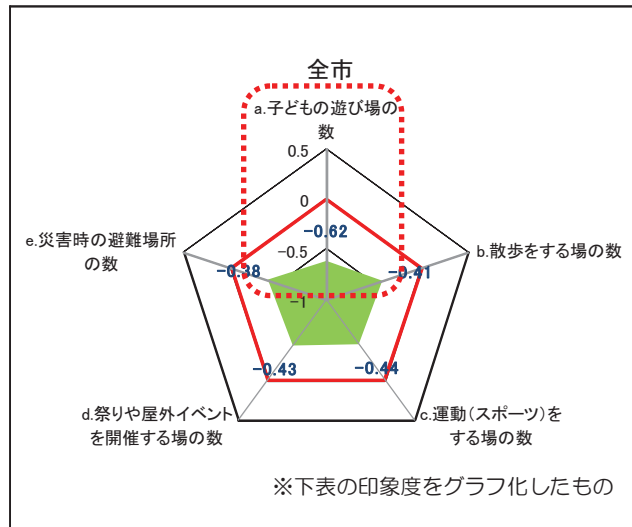


図2-27 公園や運動場の数(得点比較)

表2-15 公園や運動場の数

(得点比較)

	(a) 子どもの遊び場の数	(b) 散歩をする場の数	(c) 運動（スポーツ）をする場の数	(d) 祭りや屋外イベントを開催する場の数	(e) 災害時の避難場所の数	備考
1. 非常に多い	15	28	17	10	13	得点2
2. やや多い	88	154	123	93	79	得点1
3. どちらともいえない	365	359	420	504	562	得点0
4. やや少ない	439	412	392	351	328	得点-1
5. 非常に少ない	174	121	120	113	96	得点-2
無回答	83	90	92	93	86	得点0
総計	1164	1164	1164	1164	1164	
無回答を除く計	1081	1074	1072	1071	1078	
得点計	-669	-444	-475	-464	-415	Σ各選択肢の回答数×各選択肢の得点
得点	-0.62	-0.41	-0.44	-0.43	-0.38	得点計÷無回答を除く計
基準値	0	0	0	0	0	多いと少ないが同数の場合「0」



第2章 緑の現況と課題

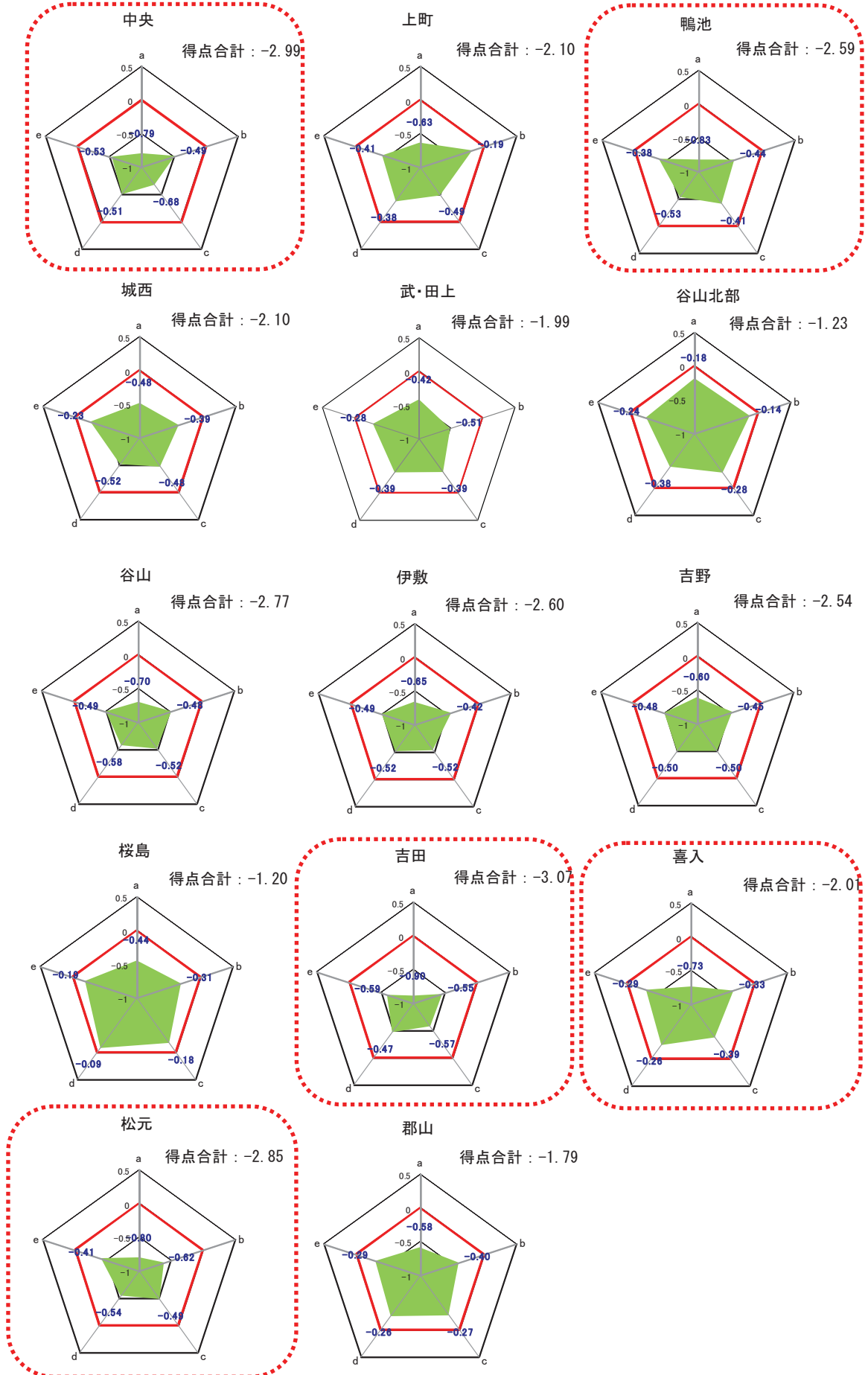


図2-28 地域別公園や運動場の数（得点比較）





⑥内容別の緑の量

- ・全市では「工場、会社などの事務所の緑」は少ないと感じている。
- ・中心市街地の中央では、緑全般が少ないと感じている。

日ごろ、接したり、目にふれたりする緑の量について聞いたところ、「自宅の庭」「近所の生垣や庭木」「神社やお寺の緑」等は比較的多いと感じている傾向にありますが、「工場、会社などの事務所の緑」や「街路樹などの道路の緑」などは比較的小さいと感じている傾向にあります。特に、「工場、会社などの事務所の緑」は少ないと感じている傾向が強うかがえます。

地域・地区別にみると、市街地部と周辺部で緑の量の感じ方が大きく異なっていることがわかります。特に、中心市街地である中央地区では得点合計が-6.21 と他と比べて大幅に低く、自宅や近所の緑などの身近な緑が少ないと感じている人が多い状況です。一方、周辺部の地域はいずれも得点合計はプラスとなっていますが、近年住宅開発等が進んでいる松元地域は他の周辺地域に比べて得点合計が低く、得点がマイナスとなっている街路樹、事務所の緑だけでなく、自宅や近所の緑など身近な緑の評価も他地域に比べて低い状況です。

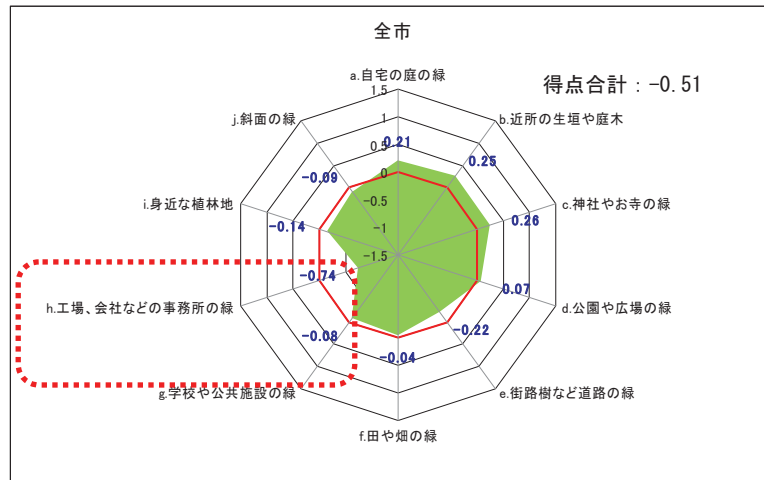


図2-29 内容別緑の量（得点比較）

※下表の印象度をグラフ化したもの

表2-16 内容別緑の量（得点比較）

	(a) 自宅の 庭の緑	(b) 近所の 生垣や 庭木	(c) 神社や お寺の 緑	(d) 公園や 広場の 緑	(e) 街路樹 など道 路の緑	(f) 田や畑 の緑	(g) 学校や 公共施 設の緑	(h) 工場、 会社な どの事 務所の 緑	(i) 身近な 植林地	(j) 斜面の 緑	備考
1. 非常に多い	193	107	104	64	38	122	44	11	69	64	得点2
2. やや多い	333	384	325	279	172	243	226	61	177	224	得点1
3. どちらともいえない	213	328	400	427	443	305	454	339	453	414	得点0
4. やや少ない	178	182	174	252	337	235	278	414	229	259	得点-1
5. 非常に少ない	160	72	45	40	70	145	59	218	117	96	得点-2
無回答	87	91	116	102	104	114	103	121	119	107	得点0
総計	1164	1164	1164	1164	1164	1164	1164	1164	1164	1164	
無回答を除く計	1077	1073	1048	1062	1060	1050	1061	1043	1045	1057	
得点計	221	272	269	75	-229	-38	-82	-767	-148	-99	Σ各選択肢の回答数×各選択肢の得点
得点	0.21	0.25	0.26	0.07	-0.22	-0.04	-0.08	-0.74	-0.14	-0.09	得点計÷無回答を除く計
基準値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	多いと少ないが同数の場合「0」





第2章 緑の現況と課題

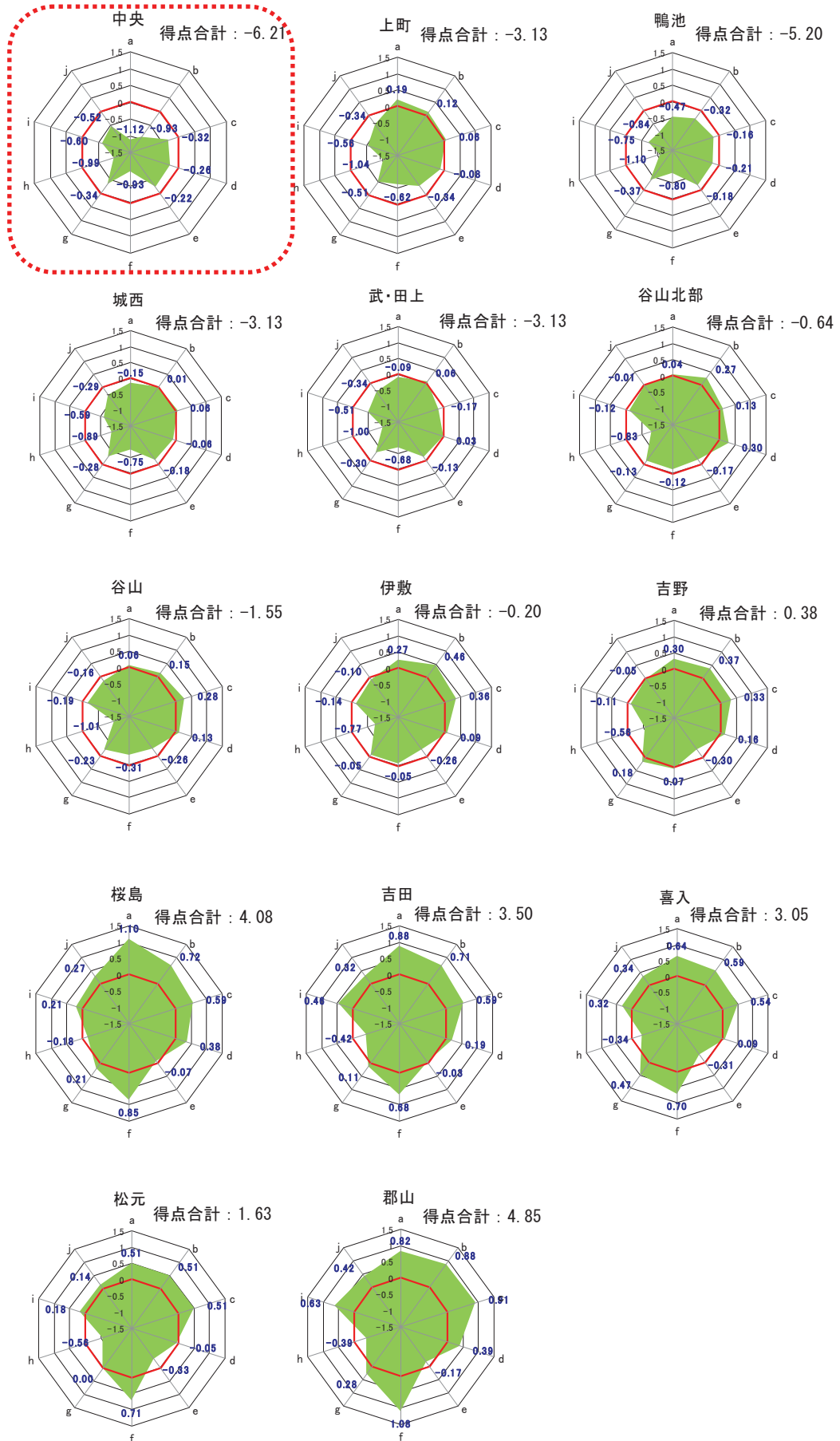


図2-30 地域別・内容別緑の量（得点比較）



### (3) 緑の保全と創出に対する意見

- ・ 保全すべき緑としては、「住んでいる近くの樹林地」が最も多い。
- ・ 整備希望の緑地としては、日常的に体を動かすことのできる場の整備要望が多い。

保全すべき緑の場所としては、「住んでいる近くの樹林地」が多く、次いで「神社やお寺の緑」や「斜面の緑」など、身近な緑が多い状況です。また、緑に親しむための取り組みとしては、「ジョギングの場」や「散策の場」など、日常的に体を動かすことのできる場の整備に関する意見が多くなっています。

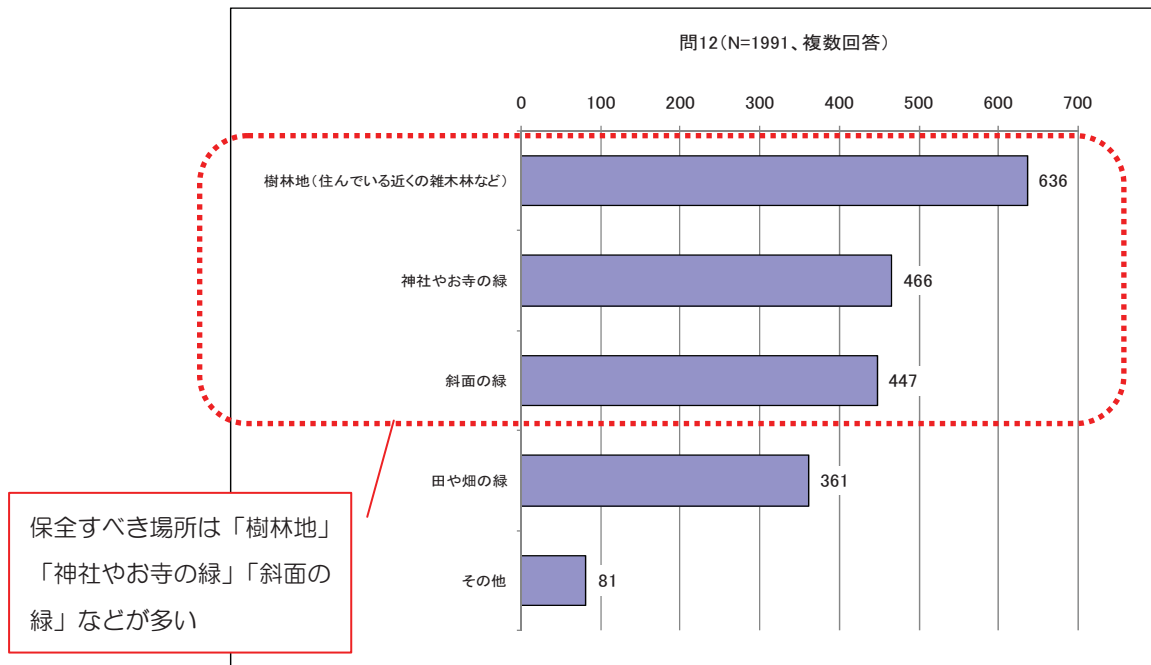


図2-31 保全すべき場所に対する意見

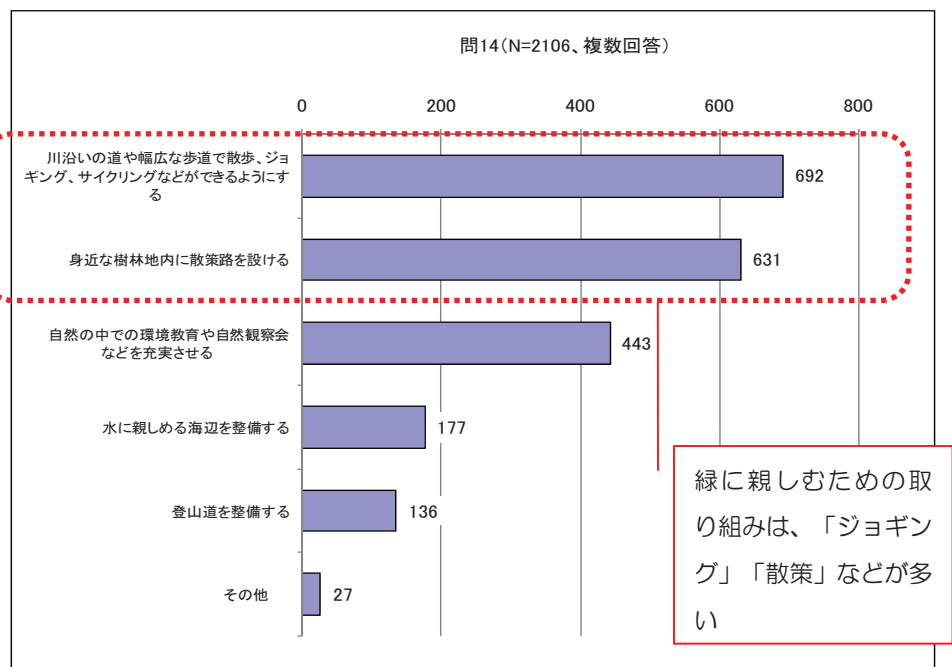


図2-32 緑に親しむための取り組みに対する意見



### (4) 公園利用の現状や改善等の意見

#### ①利用目的

公園の利用目的は、「散歩する」「子どもを遊ばせる」が多く、この2つで約半数を占めています。

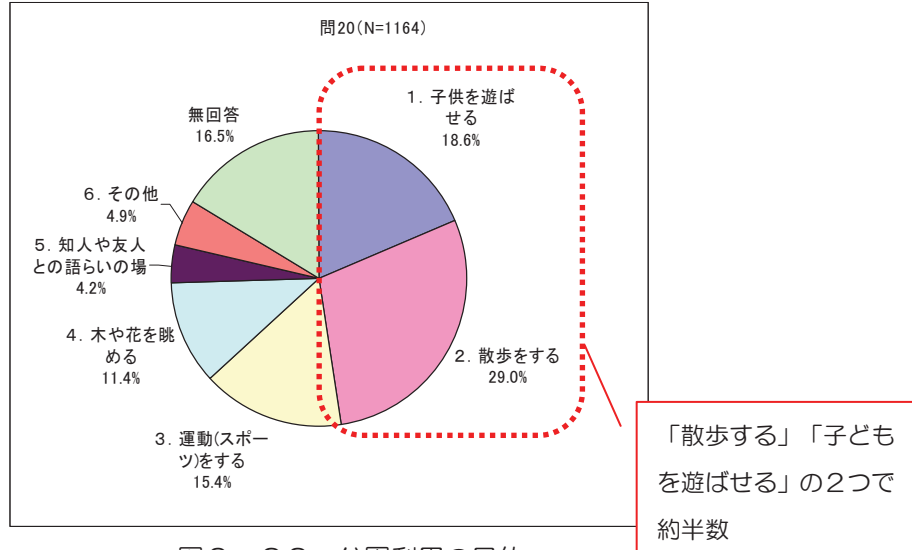


図2-33 公園利用の目的

#### ②公園充実のための要望

公園の充実に必要なことでは、「休憩のできる施設を充実させる」が最も多く、次いで「清掃や除草などの管理を充実させる」「花壇などの花を増やす」が上位を占めています。

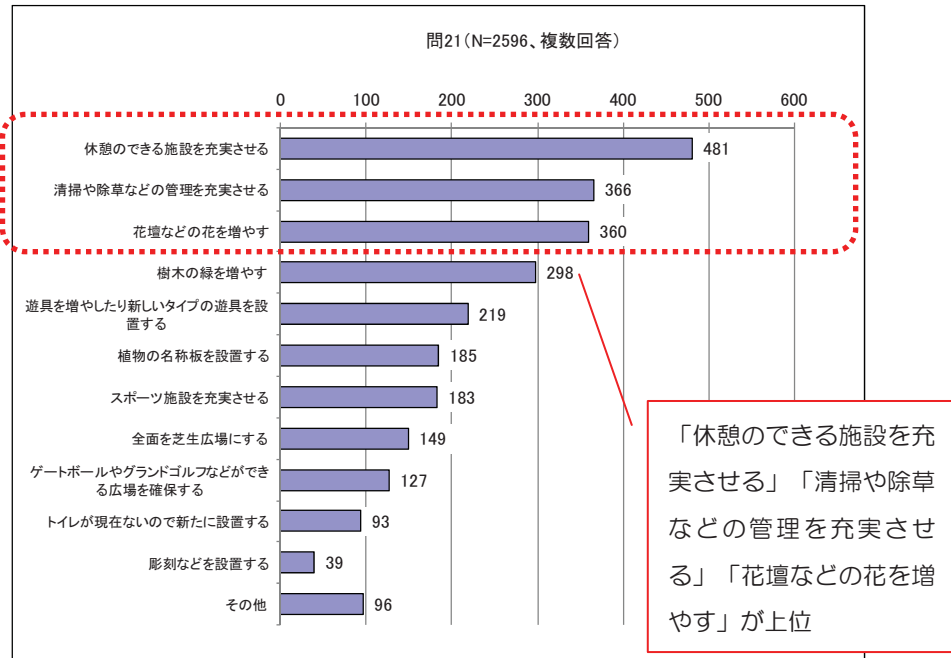


図2-34 公園充実のための要望



### ③公園までの所要時間

- ・公園までの所要時間は、「10分以上」がおよそ3分の1となっている。
- ・地域によって公園までの所用時間には大きな差がある。

公園までの所要時間は、「10分以上」が30.2%で最も多く、「5～10分」が15.6%、「3～5分」が12.5%、「3分以内」が10.9%と続きます。

地域・地区別にみると、旧市内の谷山北部、武・田上、中央、鴨池地区、伊敷地域などでは、5分以内で公園に行けると回答した人が30%以上であるのに対して、周辺地域の松元、吉田地域及び旧市内の吉野地域、上町、城西、谷山地区では公園に行くのに10分以上かかると回答した人が30%を上回っており、地域によって公園までの時間に大きな差があることがわかります。

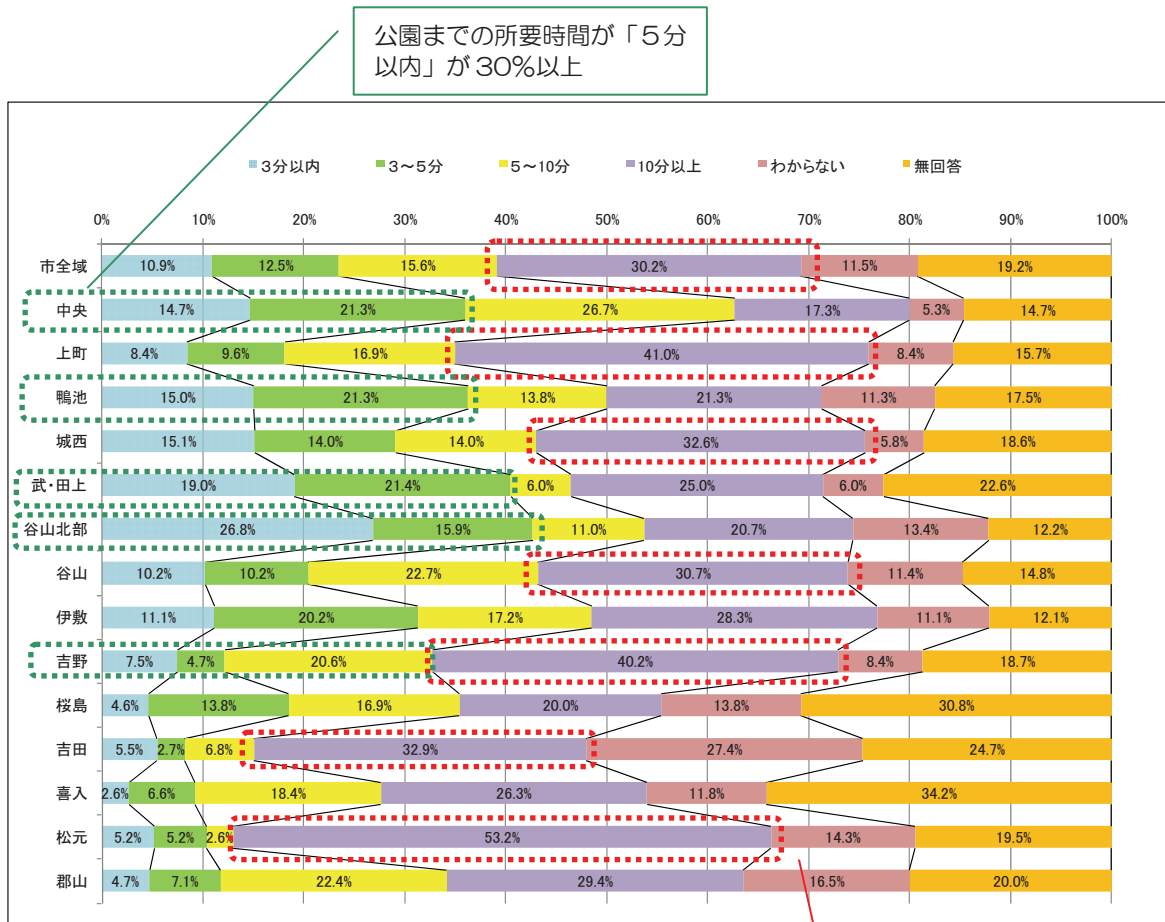


図2-35 公園までの所要時間

公園までの所要時間が「10分以上」が30%以上



(5) 緑化の取り組みに対する意見

・緑化の取り組みへの参加意識は、気軽な参加はできるが、ボランティアなどとしての参加は敬遠気味となっている。

緑の普及・育成のためにすべきことは、「市民の参加しやすい緑化運動を展開する」という意見が最も多く、次いで「地域ぐるみの緑化を援助したり、指導していく」「苗木や花を配布する」「緑を楽しむイベントを開く」という順になっています。

緑の普及・育成活動への参加意向に関しては、「自分の住んでいる住宅敷地内の緑化の充実を図る」が圧倒的に多くなっていますが、「園芸などの趣味の活動への参加」「市や地域の緑の催しへの参加」なども参加意向が多くなっています。

一方、「市や地域の呼びかけに対する緑化ボランティアとしての協力」は『参加できる』より『参加は難しい』が上回っており、「緑化や花づくりの維持管理に対し地域の一員としての参加」も『参加できる』と『参加は難しい』が同程度の状況にあります。

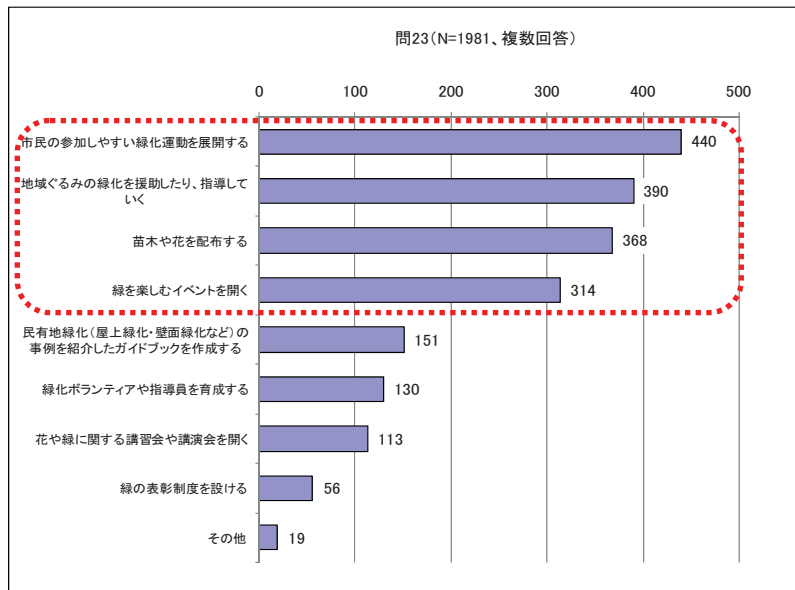


図2-36 緑の普及・育成のためにすべきことに対する意見

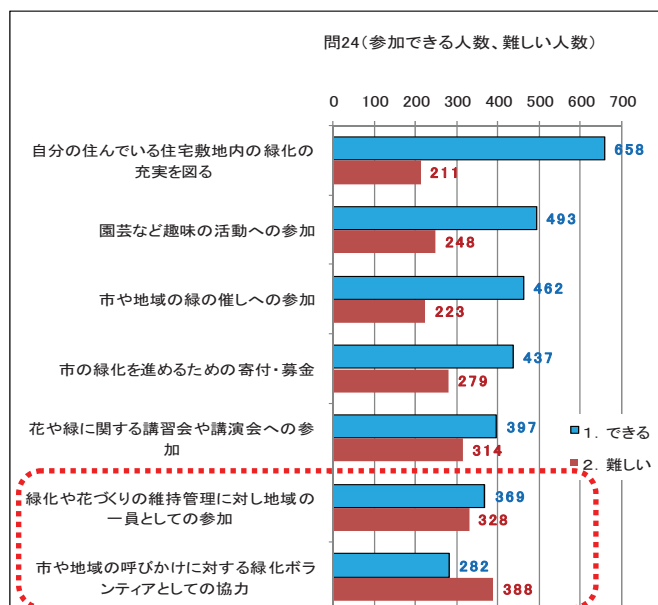


図2-37 緑の普及・育成活動への参加意向